



第26号 (平成18年12月発行)
東海ノア協定事務局
(原子力機構・原子力科学研究所内)
Telephone: 029-282-5801
E-mail: t-noah@jaea.go.jp

東海ノア通信 第26号 をお届けします。

東海ノアでは「平成18年度年間基本活動計画」に基づく活動を展開しております。本号は、東海ノアの日頃の活動を紹介するとともに、情報の共有化のための記事も紹介しております。

東海ノア協定に基づく活動状況は、適宜、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、<http://tnoah.tokai-sc.jaea.go.jp/> です。

トピックス

☆活動状況

- ・ 活動推進幹事会、安全協力委員会の開催状況
- ・ 自主保安に関する点検協力活動
- ・ 安全教育に関する協力活動
- ・ 情報交換に関する協力活動
- ・ 緊急時に対応するための協力活動

☆加盟事業所からの事業所紹介

☆委員、幹事の変更について

☆今後の活動予定

東海 NOAH:

東海村 (東海)、那珂市 (N)、大洗町 (O)、旧旭村 (A) …現銚田市、ひたちなか市 (H)

☆活動状況

安全協力委員会、活動推進幹事会の開催状況

○第15回安全協力委員会

開催日：平成18年10月4日（水）

開催場所：原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

主な議題：

- (1) 平成18年度 上期の活動状況と下期の活動について



○第35回活動推進幹事会

開催日：平成18年9月14日（木）

開催場所：原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

主な議題：

- (1) 東海ノア通信第25号の発行について
- (2) 平成18年度 第1回安全教育研修の実施について
- (3) 平成18年度 「自主保安点検協力活動」の結果及び実施について
 - ①第1回実施結果報告 — 原子力科学研究所
 - ②第2回実施計画 — 核燃料サイクル工学研究所
- (4) 平成18年度 通報訓練の実施結果について
- (3) 平成18年度 上期の活動状況と下期の活動について



○第36回活動推進幹事会

開催日：平成18年12月18日(水)

開催場所：原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

主な議題：

- (1) 平成18年度「自主保安点検協力活動」の結果及び実施について
 - ①第2回実施結果報告 —核燃料サイクル工学研究所
 - ②第3回実施計画 —大洗研究開発センター
- (2) 平成18年度 総合訓練の実施について
- (3) 平成18年度 第2回安全教育研修の実施について
- (4) 東海ノア通信第26号の発行について



自主保安に関する協力活動

協定に加盟している事業所を対象に、原子炉主任技術者、放射線取扱主任者、核燃料取扱主任者、衛生管理者、防火管理者等の実務経験のある専門家を派遣し、安全管理について様々な観点から確認、意見交換を行い、事業所の安全管理の向上に役立てるための活動を行っています。

自主保安に係る点検協力活動の実施状況は次のとおりです。

○平成18年度 第2回自主保安に係る点検協力活動

(1)実施日 11月9日(木)

(2)事業所名 原子力機構 東海研究開発センター 核燃料サイクル工学研究所

(3)点検協力者 3名

- ・防火管理者 (所属：日本原子力発電(株) 東海・東海第二発電所)
- ・核燃料取扱主任者 (所属：住友金属鉱山(株) エネルギー・環境事業部技術センター)
- ・放射線取扱主任者 (所属：東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター)

(4)点検項目

①安全管理	④水平展開
②規定規則等	⑤緊急時の対応
③教育訓練	⑥現場の巡視確認



事業所の対応者（右側）
と意見交換を行う点検協力者（右側）



施設の説明を受ける点検
協力実施者

○平成18年度 第3回自主保安に係る点検協力活動

第3回目の点検協力活動は、原子力機構 大洗研究開発センターを対象に、1月に実施を予定しています。

点検協力活動の詳細については、次号にて紹介いたします。

安全教育に関する協力活動

○平成18年度 第1回安全教育研修

今年度第1回安全教育研修が、11月7日（火）に原子力機構 東海研究開発センター 原子力研修センターにおいて開催されました。

7事業所より女性3名を含む16名が参加し、机上教育を行った後、午後からは実習として放射線及び放射能濃度の測定を行いました。



講義

- ・放射性物質の性質
- ・核燃料サイクルと
臨界安全の基礎



グループ実習

- ・放射線及び放射能濃度の測定実習

○平成18年度 第2回安全教育研修

今年度第2回目の研修は、2月2日（金）に、日本原子力発電株式会社 総合研修センターにて開催を予定しています。

情報交換に関する協力活動

○トラブル情報の交換

- ・原子力機構 大洗研究開発センター

高温工学試験研究炉(HTTR)の原子炉停止について

（11月1日プレス発表）

- ・原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

減容処理棟における火災について （12月5日プレス発表）

○事業所の見学会

情報交換の一環として、11月17日（金）に東京電力 常陸那珂火力発電所のご協力を得て、見学会を開催しました。

同発電所は、平成15年12月に最新鋭の石炭火力発電所として誕生し、さまざまな環境対策が講じられています。

見学会には、横溝安全協力委員会委員長をはじめ11事業所50名の方が参加し、中央制御室、タービン建屋、石炭船専用栈橋等の見学をしました。



見学者に挨拶をされる
石橋常陸那珂火力発電
所長



タービンフロアの見学
をされる横溝安全協力
委員会委員長

○防災訓練等の見学

(1) 原子力機構 大洗研究開発センター

10月31日（火）に非常事態訓練が行われ、加盟事業所から4名が見学しました。

見学後、感想を交えた質疑応答があり、参加者から「体制・対応等について参考としたい」などの感想が述べられました。



訓練中の現地対策本部



大洗町消防署と連携した
負傷者の搬出訓練
(写真右は見学者)

(2) 原子力機構 核燃料サイクル工学研究所

11月21日（火）に防災訓練が行われ、加盟事業所から5名が見学しました。

参加者から、現場指揮所、機器配備状況等について質問がありました。



訓練中の現地対策本部の
様子 (1)



訓練中の現地対策本部の
様子 (2)

緊急時に対応するための協力活動

○東海ノア総合訓練のお知らせ

今年度の東海ノア総合訓練は、1月に、原子燃料工業株式会社を防災事業所と想定し、訓練を行う予定です。

☆加盟事業所からの事業所紹介

『当社の安全活動状況等について』

日本核燃料開発株式会社（略称NFD）

当社は、核燃料の研究開発を行う会社として、（株）東芝と（株）日立製作所の共同出資により、昭和47年に設立されました。原子力発電所で使用したそのままの燃料集合体を取り扱える世界有数の大型研究施設である照射後試験施設（ホットラボ）、高性能な新型燃料開発のための燃料研究棟（ウランラボ）及び材料研究棟において、各種高性能の試験装置、測定器、分析機器等の設備と独自の技術力を活かして、原子力発電所の安全性評価、信頼性や経済性の向上に必要な研究開発を推進しております。

当社は、その基本理念を安全最優先とし、①トップとしての方針を提示し、情報の共有化を図る、②体系的な仕組みを作る、③仕組みを実効的に運用する、の3点を具体化のための方策として掲げ、安全意識の維持・向上に向けた活動を展開しております。

東海ノア通信第6号では当社の安全管理における特徴についてご紹介させて頂きましたが、本号ではその後の活動状況の一端をご紹介します。

1. 当社の安全管理推進体制

当社では、安全管理にかかわる会議体の最上位に半年毎に開催される、社長、取締役及び各部長他の出席による「安全会議」があり、年度計画の審議・決定と安全活動状況のフォローアップを実施しています。

また、「安全会議」の下には「安全衛生委員会」と「放射線安全委員会」の2つの常設委員会を設け、「安全衛生委員会」では日常の一般安全衛生活動について、「放射線安全委員会」では放射線安全等にかかわる事項を取り上げ、審議しております。なお、毎月行う職場安全巡視では、安全衛生委員会メンバーに止まらず、テーマを定め、役員、産業医等と巡視者を替え、種々視点からの巡視が行えるようにしております。

衛生面では、毎年1回、産業医による健康講演会を開催し、従業員の健康管理に対する意識向上を図っております。

2. 「NFD行動規範」の制定と従業員への周知

企業倫理に関する取組み強化のため、当社では、法令遵守・社会正義から、社会との関わり、品質保証活動に至る当社の企業姿勢、従業員のあるべき姿を明確にする目的で、従来より制定している「安全理念」「経営理念」を具体化した「NFD行動規範」を平成16年2月に制定し、全従業員にハンドブックとして配布すると共に、従業員向けの研修を行い、意識の浸透を図っております。

また、折にふれ、社長よりコンプライアンスに関するメッセージを発信すると共に、全従業員参加の集会では社長訓示を通じて安全最優先の意識付けを図っております。



NFD行動規範



安全集会での全従業員への社長訓示

3. 安全管理にかかわる全規定類のネットワーク上への掲載

諸手続きや業務手順等を明確にするため、当社では、会社規定類及び手順書等を総て「文書管理規程」に基づいて整備しております。また、様式類に文書改定番号を記載するなど、常に最新かつ使用目的に応じた

帳票類が分かるような取組みを進めております。必要な時に、速やかに規定類が確認できるように、情報管理を必要とする場合を除いて、安全にかかわる全規定類を電子掲示板に掲載しております。

4. 地域共生活動について

大洗町で行われる八朔祭、商工感謝祭、交通安全町民パレードなどに積極的に参加すると共に、大洗の海水浴シーズン開始前には恒例の海岸清掃に毎年、欠かさず協力しております。

また、本年10月21日には、茨城原子力50周年記念フェアの原子力事業所巡回バスツアーにて、多数の一般の方々に構内を見学いただき大洗町八朔祭に参加しました。



これからも安全最優先で取組んでまいりますので、関係各機関並びに地域の方々のご理解ご協力をお願いいたします。

以上

☆委員、幹事の変更について

安全協力委員会並びに活動推進幹事会のメンバーが変更となりました。

今年度、新たに委員、幹事となられた方は、次のとおりです。

(敬称略)

(1)安全協力委員会 委員

・ 那珂核融合研究所長

常松 俊秀 (4月より)

・ 株式会社ジェー・シー・オー
東海事業所長

桐嶋 健二 (10月より)

(2)活動推進幹事会 幹事

・ 原子燃料工業株式会社
東海事業所副所長

鈴木 信幸 (8月より)

☆今後の活動予定

- ・平成18年度 第3回自主保安に係る点検協力活動・・・・・・・・・・1月
- ・平成18年度 東海ノア総合訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・1月
- ・平成18年度 第2回安全教育研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・2月
- ・第37回 活動推進幹事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・2月
- ・第16回 安全協力委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・3月

編集後記

東海ノアの活動につきましては、日頃より加盟事業所皆様方のご理解・ご協力をいただき感謝いたしております。

11月には、「常陸那珂火力発電所」の見学会が行われ、横溝安全協力委員会委員長をはじめ、多数の方が参加されました。開催に際し、原子力機構殿よりバスを提供して戴き、見学がスムーズに行えた事を事務局として感謝致しております。

また、今後の活動に資するため、加盟事業所を対象に、自主保安点検協力活動、緊急時対応訓練についてアンケートを行いました。アンケート結果は、事務局にて取り纏めを行い、先日の活動推進幹事会に報告致しました。今後、自主保安点検協力活動及び緊急時対応訓練について改善案を提案し、活動推進幹事会及び安全協力委員会を経て、次年度の活動に反映をしたいと考えております。

今年度も残り3ヵ月となりましたが、事務局では、今後も引き続き東海ノアの活動について、加盟事業所のご協力を頂きながら改善を図っていきたいと考えております。

東海ノアに関するご意見、ご要望等がございましたら、事務局までお寄せください。
(東海ノア協定事務局)



東海ノア通信

記事の中で、「日本原子力研究開発機構」は「原子力機構」と略称で記載しております。